

校長室だより

第12号

柏原市立柏原中学校
校長 石田 智
令和8年2月10日（火）発行

○学校教育自己診断アンケート結果について

先日はお忙しい中、本年度の学校教育自己診断アンケートにご協力いただき誠にありがとうございます。本年度は昨年度より多い242名もの保護者の方々にご回答いただきました。結果としては、生徒の肯定的回答（「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計）は昨年度とそれほど変化はありませんでしたが、保護者の方々は昨年度より大きく向上していることが見て取れ、大変嬉しく思っております。今回はその特徴的な部分を紹介させていただきます。

1. 昨年度に比べて肯定的回答が特に向上したもの

【保護者】

番号	質問	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない	肯定的回答	昨年度との差
8	学校の雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。	27%	51%	6%	1%	14%	79%	5%
10	先生は子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	26%	45%	10%	1%	19%	71%	5%
14	学校は、学習の内容を懇談や学級（学年）通信などでよく周知している。	36%	47%	7%	2%	8%	83%	10%
16	先生は、子どもをよく理解している。	30%	50%	7%	2%	11%	80%	9%
19	先生は、子どもの能力や努力を適切・公平に評価してくれる。	31%	45%	7%	2%	14%	76%	9%
25	学校は、保護者や地域の人たちと話をする機会は適切である。	21%	35%	9%	0%	34%	57%	6%

全25問中15問において昨年度より肯定的回答が向上しました。上記は5%以上向上したもので、特に学習内容の周知や、子どもの理解、適切・公平な評価について向上していることは教職員にとって大きな励みになっているところです。

2. 昨年度に比べて肯定的回答が特に低下したもの

【生徒】

番号	質問	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない	肯定的回答	昨年度との差
3	生徒会活動や学級活動に関心を持ち積極的、主体的に参加している。	31%	33%	22%	5%	9%	64%	-8%

「主体性の育成」をテーマに取り組んでいる中で、授業や行事の中での主体的な態度はよく見られるようになった一方で、生徒会活動や学級活動への主体的な参加についての意識は低下していることが見て取れます。この結果を真摯に受け止め、今後の取組みに反映していきます。

3. 肯定的回答が85%以上のもの

【保護者】

番号	質問	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない	肯定的回答
2	子どもは、学校での友達関係がうまくいっていると思う。	37%	51%	8%	0%	3%	88%
21	学校は、台風などの場合の対応について、生徒や保護者に対応マニュアルを周知している。	46%	43%	1%	1%	9%	89%
23	保護者の授業参観する回数は適切である。	38%	48%	5%	0%	8%	86%
24	学校の保護者向け文書の内容は適切である。	38%	48%	3%	0%	11%	86%

【生徒】

番号	質問	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない	肯定的回答
2	学校での友達関係は、うまくいっている。	60%	28%	5%	0%	6%	88%
11	評価のつけ方や基準について事前に知らされている。	52%	33%	6%	2%	6%	86%
13	学校行事等では、クラス、学年、学校全体で協力して取り組んでいる。	68%	24%	3%	0%	5%	92%
14	先生は厳しく真剣に、自分のことを考えて指導してくれている。	56%	32%	2%	1%	9%	88%
17	学校では、人権の大切さ、命の大切さについて学ぶ機会が多い。	58%	35%	3%	0%	4%	93%
18	学校内では、先生や友達、来客の方にあいさつが自然に交わされている。	60%	30%	5%	1%	5%	90%
19	教室や、廊下（ろうか）をきれいに掃除している。	47%	42%	5%	2%	5%	89%

保護者からは特に非常時のマニュアルの周知（89%）について高く評価していただきました。生徒については、「人権の大切さ、命の大切さについて学ぶ機会が多い」は93%の最高値で、年間を通して人権教育を計画的に推進してきた成果が見られます。その他、学校行事に協力して取り組むこと（92%）やあいさつ（90%）に関しても90%を超えており、良い傾向だと捉えています。

3. 保護者と教員の回答に乖離が見られるもの

質問	質問	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない	肯定的回答
12	（教員）本校の生徒会活動は、活発である。	33%	63%	4%	0%	0%	96%
12	（保護者）学校の生徒会活動は、活発である。	16%	31%	7%	1%	45%	47%
13	（教員）本校は、進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。	33%	63%	4%	0%	0%	96%
13	（保護者）学校は、進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。	15%	36%	17%	3%	28%	52%

昨年度、学校評議員からのご意見があったことから、本年度より教員へのアンケートも実施することにいたしました。教員と生徒の回答に大きな乖離は見られませんでした。生徒会活動の活発さと進路に対する適切な情報提供については、教員と保護者の回答に40%以上の乖離が見られました。共通して「わからない」の割合が高いことから、この2点については教員側がより積極的に発信していくことが必要であると感じております。

4. 過去3年間で最も肯定的回答が高かったもの

【保護者】

番号	質問	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない	肯定的回答	3年前との差
7	学校は、教育活動を年度初めにわかりやすく伝えている。	23%	50%	8%	2%	17%	73%	15%
9	学校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	21%	47%	8%	1%	22%	69%	13%
14	学校は、学習の内容を懇談や学級（学年）通信などでよく周知している。	36%	47%	7%	2%	8%	83%	19%

【生徒】

番号	質問	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない	肯定的回答	3年前との差
6	先生は、私たちの意見をよく聞いてくれるなど、悩みや相談に親身になって応じてくれる。	45%	36%	6%	2%	11%	81%	11%

過去3年間での変化を見ますと、保護者で13問、生徒で3問、最も肯定的回答が高くなったものがありました。その中でも生徒と同様に、保護者の方々からも人権教育の推進を評価いただいていることや、生徒が教員を意見や悩みを聞いてもらえる存在として捉えていることを大変嬉しく思います。